本誌掲載論文

（著者別）

津野　孝　　**＜日本＞**

・知的財産の創造に向けて　01巻1号
・産業財産権制度125周年を迎えて　02巻1号
・株式会社椿本チエインの経済産業大臣表彰に接して　02巻1号
・中国市場に対する期待と諸問題　03巻1号
・グローバルな知的財産戦略の推進に向けて　04巻1号
・「つばき文化　特許商品アラカルト集」を発刊して　04巻1号
・グローバル化と国際調和を踏まえた知的財産戦略に向けて　04巻2号
・株式会社椿本チエインの「全国発明表彰」に寄せて　04巻2号
・国富に不可欠な知的財産戦略　05巻1号
・シフトする我が国の知財パラダイム　05巻2号
・世界に拡げよう弁理士ネットワーク　06巻1号
・グローバル化に不可欠な「知的財産の力」　06巻2号
・世界最高の「知財立国」に向けて　07巻1号
・多様化する企業の知的財産戦略　07巻2号
・知的財産のグローバル化に向けて　08巻1号
・知的財産活動の新たな潮流の中で　08巻2号
・元気あふれる地域・中小企業の知的財産活動　09巻1号
・東和なぎさ経営戦略研究所の第1回顧問交流会　09巻1号
・第四次産業革命と知的財産　09巻2号
・経済成長に寄与する知的財産の利活用　10巻1号
・世界に通用する技術大国の実現に向けて　10巻2号
・知的財産を巡る国際情勢　11巻1号
・イノベーション創出の潮流の中で　11巻2号
・企業活動に不可欠な知的財産活動　12巻1号
・COVID-19は、変革のチャンス　12巻2号
・知的財産活動からみたCOVID-19対応　13巻1号
・長引くコロナ禍における知的財産活動　13巻2号
・コロナ禍を乗り越えていく、我が国の知的財産活動　14巻1号
・コロナ後の経済回復に向けた知的財産活動　14巻2号
・我が国の知的財産活動に求められる喫緊の課題　15巻1号
・「アフターコロナ」を迎えた知的財産活動　15巻2号
・大きく変貌する、知的財産の環境や機能　16巻1号
・東和国際特許事務所の創業55周年を迎えて　16巻2号
・気になる米国知的財産政策の動向　17巻1号

鈴木公明　　**＜日本＞**

・東和知的財産研究所の設立について　01 巻 1 号
・東和知財研究所の最近の活動について　02 巻 1 号
・企業再生と知的財産　03 巻 1 号
・包括的知的財産マネジメントに向けて　04 巻 1 号
・書評「明治の特許維新―外国特許第 1 号への挑戦！－」　04 巻 1 号
・知財戦略の時代へ　04 巻 2 号
・経済動向と知財戦略　05 巻 1 号
・知的財産と企業の競争力　05 巻 2 号
・イノベーションと知的財産　06 巻 1 号
・ケーススタディ「シガレットパックの意匠」　06 巻 1 号
・研究交流の場としての「東和知財研究」　06 巻 2 号
・東和知財研究誌通巻第 10 号の発刊を迎えて　07 巻 1 号
・包含関係にある複数部分意匠の実務的意義　07 巻 1 号
・特許オープン戦略の進展　07 巻 2 号
・グローバル市場に対応する海外出願　08 巻 1 号
・非技術的知財によるブランディング支援　08 巻 1 号
・我が国における知財制度改正の潮流　08 巻 2 号
・AI, BD, IoT と知的財産との関係　09 巻 1 号
・「意味」のイノベーション　09 巻 2 号
・特許取得の意義とその活用法　10 巻 1 号
・「Society5.0」への対応　10 巻 2 号
・頻繁な制度改正に基づく外国出願の困難性　11 巻 1 号
・グローバル化する経済と知的財産　11 巻 2 号
・東和知財研究誌通巻第 20 号の発刊を迎えて　12 巻 1 号
・COVID-19 の社会的影響　12 巻 2 号
・SDGs と知的財産との関係　13 巻 1 号
・ビジネスと知的財産との関係　13 巻 2 号
・知財人材に求められる複合的能力　14 巻 1 号
・VUCA ワールドの知的財産　14 巻 2 号
・金融・経済事象としての知的財産　15 巻 1 号
・知的財産権と生成系 AI　15 巻 2 号
・環境問題と知的財産　16 巻 1 号
・模倣品対策と知的財産権行使　16 巻 2 号
・東和知財研究誌通巻第 30 号の発刊を迎えて　17 巻 1 号

津野洋明　**＜日本＞**

・ジョブ理論と知的財産権（その1）	10巻1号
・ジョブ理論と知的財産権（その2）	10巻2号
・日本語で読みやすいクレームおよび明細書の記載	11巻1号
・（共著）日米特許出願構造調査	11巻2号
・「Amazonブランド登録」に見る商標出願の重要性	12巻1号
・実用新案登録制度について	12巻2号
・日本における今後の知財制度改正	13巻1号
・コーポレートガバナンス・コードの改訂	13巻2号
・2022年4月からの制度改正	14巻1号
・特定侵害訴訟代理業務試験受験体験記	14巻1号
・VUCA時代の特許出願戦略	14巻2号
・原出願が審判係属中である分割出願に対する審査中止の運用	15巻1号
・日本におけるソフトウエア関連発明の発明該当性の取り扱い（1）	15巻2号
・日本におけるソフトウエア関連発明の発明該当性の取り扱い（2）	16巻1号
・侵害論の審理を考慮した発明の捉え方	16巻2号
・審査官とのコミュニケーション	17巻1号

Alistair Holzhauer-Barrie **＜英国＞**

・EU デザインの改革　17 巻 1 号

Andreas Pfund **＜独国＞**

・（共著）EPO 異議申立と不服審判―EPO の第一審から第二審への繰り越し請求に関する判例法の揺らぎ　17 巻 1 号

Andrew Broscoff **＜米国＞**

・特許適格性回復法案に基づく米国特許の主題適格性改革　17 巻 1 号

Andrew Jones **＜オーストラリア＞**

・模倣品対策と知的財産権の行使　16 巻 2 号

Anton K. Pfau **＜独国＞**

・Brexit のヨーロッパ統一特許制度への影響　08 巻 2 号
・ドイツにおける IoT の特許性　09 巻 1 号
・（共著）自律走行車両の研究活動に関する調査　09 巻 2 号
・ドイツ実用新案による保護の強化　10 巻 1 号
・欧州におけるオプトアウト戦略　10 巻 2 号
・欧州特許出願の優先権主張の有効性　11 巻 1 号
・欧州の自由貿易 – EU における特許権消尽の原則　11 巻 2 号
・（共著）ユーロ圏とイタリアでの国際特許の意味　12 巻 1 号
・（共著）ドイツのデジタルヘルスアプリケーションと知財　12 巻 2 号
・欧州特許庁におけるダブルパテントの禁止　13 巻 2 号
・（共著）統一特許裁判所の代理人および構成　14 巻 1 号

Benjamin Hauptman **＜米国＞**

・（共著）米国審査官の “動機付け” を知り有効に活用する策　12 巻 1 号

Brian C. Altmiller **＜米国＞**
・Arthrex 社判決が IPR プロセスを支持 13 巻 2 号

Brooke Groneman **＜米国＞**
・パテント・トロールと米国の当事者系レビュー 10 巻 1 号

Bruce J. Rose **＜米国＞**
・(共著) 米国特許無効の申請：PTAB における当事者系レビュー (IPR) 09 巻 2 号

Chad M. Rink **＜米国＞**
・USPTO による特許適格性問題への取り組み 14 巻 2 号

Chloe Taylor **＜オーストラリア＞**
・先端技術と変化する分類 17 巻 1 号

Christopher J. Maier **＜米国＞**
・(共著) この数か月で米国は特許適格性の振り子を明確にプロパテントの方向に振り戻し始めた：Mayo-Alice2 ステップテストにおける 2A ステップの台頭 11 巻 1 号
・(共著) 米国商標の重要性の高まり 11 巻 2 号
・(共著) 米国特許訴訟に影響を与える最近の判決 12 巻 1 号
・(共著) 進行中のパンデミックが強調する S-Signatures の重要性 13 巻 1 号
・(共著) 連邦巡回控訴裁判所 101 条「有効性シチュー」の明確な像 13 巻 2 号
・(共著) 米国における意匠権侵害 14 巻 1 号
・(共著) ロシアの民間航空機を抑圧する欧米の知的財産権利用法 14 巻 2 号

Clara (Jiawen) Xi　**＜スウェーデン＞**

・IPEP－偽造品撲滅のための欧州連合（EU）集中管理体制　16 巻 2 号

Cynthia Stephanson　**＜米国＞**

・米国における商品の外観の補完的保護：商標とデザインパテント　08 巻 1 号

David A. Jones　**＜米国＞**

・米国の当事者系レビュー手続および特許付与後レビュー手続における
クレーム解釈手法　04 巻 2 号

David Sinz　**＜独国＞**

・（共著）EPO 異議申立と不服審判―EPO の第一審から第二審への
繰り越し請求に関する判例法の揺らぎ　17 巻 1 号

Dedar Singh Gill　**＜シンガポール＞**

・シンガポールにおける商標の登録要件の制定仮定　07 巻 2 号
・特許と商標の相互関係　08 巻 1 号
・シンガポール高裁が特許無効手続を扱う第 1 審管轄権を有さない
ことについて　10 巻 1 号

Douglas P. Mueller　**＜米国＞**

・気候変動への取り組みと USPTO　16 巻 1 号
・模倣品の多次元的課題　16 巻 2 号
・連邦巡回控訴裁による自明性型ダブルパテントの明確化　17 巻 1 号

Eamon Ng Yi Neng　**＜シンガポール＞**

・（共著）シンガポールにおける持続可能な技術と知的財産の 発展動向　16 巻 1 号

Erik Krahbichler **＜スウェーデン＞**

・デュッセルドルフ高等地方裁判所における最近の深圳ミンドレイ対深圳コメン訴訟を探る　16 巻 1 号

Fabrice Mattei **＜スウェーデン＞**

・（共著）持続可能性の範囲内にある知的財産：欧州連合からの観点　16 巻 1 号
・（共著）UPC における特許の権利行使：最初の本案判決からの教訓　16 巻 2 号

Gabriela B. Tomescu **＜スウェーデン＞**

・2024-2025 USPTO プレミア変更　17 巻 1 号

George Anthony Smith, Jr. **＜米国＞**

・中国に対する商標出願の諸問題　03 巻 1 号
・米国および EPO 出願のための出願戦略　04 巻 2 号
・経済動向に基づく我が国での出願戦略と国内申請　05 巻 1 号
・米国の観点から見た国際市場での競争優位　05 巻 2 号
・特許保護の目標と特許戦略との関係　06 巻 1 号
・付与後レビュー制度の米国特許申請戦略に対する影響　06 巻 2 号
・ブランド戦略を考える　07 巻 1 号
・特許のオープン化戦略　07 巻 2 号
・米国における製品の外観の商標による保護　08 巻 1 号
・最近の米国特許法改正の実務への影響　08 巻 2 号
・AI の発明に対する特許　09 巻 1 号
・特許がイノベーションを促進する方法と品質審査の重要性　09 巻 2 号
・特許ポートフォリオを持つべき理由　10 巻 1 号
・米国特許商標庁によるコンピュータ実施発明クレームの拒絶の回避　11 巻 1 号
・米国国際貿易委員会への知的財産申立手続　11 巻 2 号
・特許ハーモナイゼーション―保護対象、手続きおよび協力関係　12 巻 1 号
・米国の裁判手続におけるパンデミック関連の変更　12 巻 2 号
・持続可能な開発目標を実現するための USPTO の措置　13 巻 1 号

Girishchandra Tanna **＜印国＞**

・（共著）競争法と知的財産権　08 巻 1 号
・（共著）インドの知財制度改革　08 巻 2 号
・（共著）情報技術の保護　09 巻 1 号
・（共著）発展のための発明　09 巻 2 号
・（共著）特許「実施」の条件　10 巻 1 号
・（共著）企業における動的な知的財産政策　10 巻 2 号
・（共著）インド経済と知的財産権の保護　11 巻 2 号

Gunnar Siekmann **＜独国＞**

・統一的有効性を持つ欧州特許　05 巻 1 号

Hidetada James Abe **＜米国＞**

・（共著）米国特許無効の申請：PTAB における当事者系レビュー (IPR)　09 巻 2 号

Isabel Cantallops Fiol **＜スウェーデン＞**

・（共著）持続可能性の範囲内にある知的財産：欧州連合からの観点　16 巻 1 号
・（共著）UPC における特許の権利行使：最初の本案判決からの教訓　16 巻 2 号

Jacob L. Mangan **＜米国＞**

・米国における特許の保護対象-- 最新の USPTO ガイドラインに基づく抽象的概念　07 巻 2 号
・USPTO の新展開：ソフトウェアと抽象的アイデアについて　08 巻 2 号
・IoT をめぐる米国特許法諸問題の検討　09 巻 1 号
・イノベーションの促進　09 巻 2 号
・特許から得られる利益について　10 巻 1 号
・新たな米国向け特許明細書の検討　10 巻 2 号
・国際特許出願人の留意事項：来るべき米国明細書の精査強化　11 巻 2 号
・2020 年中には実現しそうにない米国特許法第 101 条の法改正　12 巻 1 号
・USPTO での迅速な審判請求　12 巻 2 号

Jacques-Philipp Siegel **＜独国＞**
・ヨーロッパでソフトウェア特許はとれるか？ 09巻1号

JaeYun Lee **＜韓国＞**
・韓国における AI 発明ガイドライン 15巻2号

James Wright **＜米国＞**
・当事者系レビューにおける特許防衛の早期準備 10巻2号

Jason A. Sanders **＜米国＞**
・米国における優先審査 06巻1号

Jason W. Croft **＜米国＞**
・米国のソフトウェア特許 08巻1号

Jens C. Koch **＜独国＞**
・(共著) 自律走行車両の研究活動に関する調査 09巻2号

Jonathan Agmon **＜シンガポール＞**
・シンガポール高等法院がジェネレーティブ AI ガイドを発行 17巻1号

Joshua Pritchett **＜米国＞**

・（共著）米国審査官の “動機付け” を知り有効に活用する策　12 巻 1 号

Juergen Feldmeier **＜独国＞**

・インダストリー 4.0：ドイツにおける IoT　09 巻 1 号
・なぜ特許取得は重要なのか　10 巻 1 号
・新技術の進歩による知的財産権の実践の変化と今後の方向性　10 巻 2 号
・国（域）外からの出願が指摘されがちな拒絶理由　11 巻 1 号
・ドイツとヨーロッパの税関の活動―背景情報と有用なヒント　11 巻 2 号
・Covid 19 が知財法を扱うトータルデジタルオフィスに与える影響
―Prüfer & Partner の自己評価　12 巻 2 号
・欧州統一特許裁判所（UPC）― UPC は何処へ？　13 巻 1 号
・「第二次特許法簡素化近代化法」の施行―ドイツの「差止命令
ギャップ」解消を意味するか？　13 巻 2 号
・ポストコロナ時代のドイツ・欧州特許庁、裁判所、知財事務所経営
における知財業務の実態　14 巻 2 号
・統一特許裁判所と EPO 異議申立手続への影響　15 巻 2 号
・持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号
・祝・生誕！ 単一効特許と統一特許裁判所（UPC）創設一周年　16 巻 2 号
・LNGs vs. SEPs – ドイツ連邦カルテル庁、交渉共同体にイエスを表明
―中堅企業にとってのチャンス？　17 巻 1 号

Karen Thirlwell **＜独国＞**

・持続可能な開発目標 (SDGs) と知的財産権 (IPRs)：欧州に焦点を
合わせた概観　13 巻 1 号

Kei Enomoto **＜英国＞**

・欧州特許付与手続の迅速化　08 巻 1 号

Lim Siau Wen **＜シンガポール＞**

・シンガポール特許制度における外国ルートの廃止　09 巻 1 号

María García **＜スペイン＞**

・（共著）欧州連合知的財産エンフォースメント・ポータル　16 巻 2 号

Mark D. Saralino **＜米国＞**

・知財権関連の差止救済措置における ITC の重要性　08 巻 1 号

・Cuozzo Speed Tech. 事件など：当事者系レビューについて、知っておくべき判例　08 巻 2 号

Mark Teoh **＜オーストラリア＞**

・オーストラリアにおける特許出願のファストトラック審査　17 巻 1 号

Martin Ahr **＜独国＞**

・AI で創られた発明：ドイツ・欧州特許出願のための発明者指定　14 巻 2 号

Martin Klok **＜オランダ＞**

・欧州特許事情に関するユーザー統計　17 巻 1 号

Matthias Grill **＜独国＞**

・模倣品対策と知的財産権の行使　16 巻 2 号

Melissa Erce **＜オーストラリア＞**

・オーストラリアにおける第二医薬用途クレームに関する考察　16 巻 2 号

Meredith W. Struby **＜米国＞**

・（共著）米国におけるグリーン・　イノベーション早期審査　16 巻 1 号
・（共著）模倣品に対する米国における商標権行使戦略　16 巻 2 号
・（共著）米国における新たな展開：自明型ダブルパテント　17 巻 1 号

Michael K. Mutter **＜米国＞**

・国際特許プールのライセンス　11 巻 2 号

Michael Pfeifer **＜独国＞**

・ドイツ知的財産権のライセンス又は譲渡により非居住者にもドイツへの納税義務が発生し得る　14 巻 1 号

Nils T. F. Schmid **＜独国＞**

・ドイツの実用新案：ドイツでの訴訟における有用な武器　16 巻 2 号
・ドイツの実用新案：ドイツでの訴訟における有用な武器　17 巻 1 号

Priya Khamar (Mehta) **＜印国＞**

・（共著）インドの知的財産権に関する立法、行政及び司法の取組みと相互関係　12 巻 1 号
・（共著）インドの知財に対する COVID-19 の影響　12 巻 2 号
・（共著）持続可能な開発の成長に焦点を当てるインドのアプローチ　13 巻 1 号
・（共著）知的財産で新事業を守る ための取り組み　13 巻 2 号
・（共著）専門性を発揮する業務体制　14 巻 1 号
・（共著）VUCA（変動、不確実、複雑、曖昧）環境下の知的財産　14 巻 2 号
・（共著）知的財産権、金融、経済　15 巻 1 号
・（共著）ポストコロナ世界における新しい経済モデル―生成 AI とニュービジネス　15 巻 2 号
・（共著）持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号
・（共著）インドにおける知的財産権制度の動向　17 巻 1 号

R. Burns Israelsen　**＜米国＞**

・米国特許商標庁の変革　02 巻 1 号
・米国特許法改正と登録後の異議申し立て　04 巻 1 号
・米国特許と先端技術の輸入　06 巻 2 号
・アメリカにおける仮出願戦略　07 巻 1 号
・米国のミーンズ・プラス・ファンクション・クレームについて　07 巻 2 号
・米国におけるビッグデータ、IoT、AI 技術の保護　09 巻 1 号
・失効した特許権を回復するための 新しい USPTO の規則　12 巻 1 号
・COVID-19 パンデミック時の米国内のイノベーション　12 巻 2 号

Rachel Woo Yih Mun　**＜シンガポール＞**

・（共著）シンガポールにおける国境取締とその強化　16 巻 2 号

Rajeshkumar Acharya　**＜印国＞**

・（共著）競争法と知的財産権　08 巻 1 号
・（共著）インドの知財制度改革　08 巻 2 号
・（共著）情報技術の保護　09 巻 1 号
・（共著）発展のための発明　09 巻 2 号
・（共著）特許「実施」の条件　10 巻 1 号
・（共著）企業における動的な知的財産政策　10 巻 2 号
・（共著）インド経済と知的財産権の保護　11 巻 2 号
・（共著）インドの知的財産権に関する立法、行政及び司法の取組みと相互関係　12 巻 1 号
・（共著）インドの知財に対する COVID-19 の影響　12 巻 2 号
・（共著）持続可能な開発の成長に焦点を当てるインドのアプローチ　13 巻 1 号
・（共著）知的財産で新事業を守る ための取り組み　13 巻 2 号
・（共著）専門性を発揮する業務体制　14 巻 1 号
・（共著）VUCA（変動、不確実、複雑、曖昧）環境下の知的財産　14 巻 2 号
・（共著）知的財産権、金融、経済　15 巻 1 号
・（共著）ポストコロナ世界における新しい経済モデル―生成 AI とニュービジネス　15 巻 2 号
・（共著）持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号
・（共著）インドにおける知的財産権制度の動向　17 巻 1 号

Renato Bollhalder **＜スイス＞**

・スイスにおける持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号
・スイス特許法一部改正による英文出願手続実務の導入　16 巻 2 号

Ricardo Guerras **＜スペイン＞**

・（共著）欧州連合知的財産エンフォースメント・ポータル　16 巻 2 号

Richard Baddeley **＜オーストラリア＞**

・水素は今どこに？― オーストラリアの国家水素戦略は十分に野心的だったか？　16 巻 1 号

Roberto Carapeto **＜ブラジル＞**

・ブラジル特許庁 (INPI) は特許審査ハイウェイ (PPH) 第 2 段階の開始を早める　13 巻 1 号
・コロナ禍、医薬品特許とブラジルの産業財産法改正　13 巻 2 号
・ブラジルの新たな国家知的財産戦略　14 巻 1 号
・ブラジルにおけるグリーンテクノロジーのイノベーションを促進する法的枠組み　15 巻 1 号
・ブラジル特許庁における人工知能の発明者適格性　15 巻 2 号
・ブラジルにおける模倣品対策と知的財産権の行使　16 巻 2 号
・ブラジルの GPPH 開始　17 巻 1 号

Sarah Hasri **＜シンガポール＞**

・（共著）シンガポールにおける持続可能な技術と知的財産の 発展動向　16 巻 1 号

Sean Cummings **＜アイルランド＞**

・アイルランドと統一特許裁判所　16 巻 2 号

Simon Reynolds **＜オーストラリア＞**

・オーストラリアにおけるコンピュータ実施発明の特許対象範囲　16巻1号

Stefano Marchini **＜独国＞**

・(共著) ユーロ圏とイタリアでの国際特許の意味　12巻1号
・グレースピリオド―イタリアとサンマリノの独特の事例　13巻1号

Stephen G. Kunin **＜米国＞**

・(共著) この数か月で米国は特許適格性の振り子を明確にプロパテントの方向に振り戻し始めた：Mayo-Alice2 ステップテストにおける 2A ステップの台頭　11巻1号

Stephen Haley **＜英国＞**

・欧州特許保護を低コスト、最速で取得する方法について　02巻1号
・中国知的財産制度－欧州の視点　3巻1号
・欧州から見た中国知的財産制度　04巻1号
・特許ポートフォリオの国際化――欧州的アプローチ　04巻2号
・国際業務拡張のための知的財産　05巻2号
・ビジネスモデルの特許保護戦略　06巻1号
・ヨーロッパにおけるコンピュータ関連発明の特許性　06巻2号
・事業を支える知的財産戦略　07巻1号
・ライセンスを伴う特許戦略　07巻2号
・特許と意匠：最適な保護のために　08巻1号
・Brexit－激変するか、従来通りか？　08巻2号
・ビッグデータを用いたイノベーションの促進　09巻1号
・ベンチャー企業のビジネスツールとしての特許　10巻1号
・知的財産戦略は継続的事業のために進化すべきか？　10巻2号
・日本企業が欧州特許出願を準備する際に考慮すべき事項　11巻1号
・特許制度には相違点よりも類似点が多い　12巻1号
・Covid-19 パンデミック下の知的財産　12巻2号
・英国における持続可能な開発目標と知財　13巻1号
・フィンテックと知的財産　13巻2号
・企業内知財部門へのサポート　14巻1号
・欧州特許制度、不確実な世界における安定性のポイント　14巻2号
・経済的優位性のためのツールとしての英国特許　15巻1号
・機械は何かを発明できるか？　15巻2号

Stephen Haley（前ページからの続き）
・英国知的財産庁（UKIPO）のグリーン・チャンネル　16 巻 1 号

Tamotsu Okato　**＜米国＞**
・ファースト・アクション・ファイナル・リジェクション (FAFR) を
　避けるには―特許審査手続便覧 (MPEP)706.07(b) の改定について―　13 巻 1 号

Tay Yu Shan　**＜シンガポール＞**
・（共著）シンガポールにおける国境取締とその強化　16 巻 2 号

Thomas Daub　**＜独国＞**
・経済動向と特許出願・特許戦略　05 巻 1 号
・競争優位としての知的財産権市場　05 巻 2 号
・ビジネスモデルと特許出願戦略　06 巻 1 号
・強力な特許ポートフォリオの重要性　06 巻 2 号
・国際調査機関の適切な選定　07 巻 2 号
・知的財産権の混合的活用　08 巻 1 号

Thomas Schlief　**＜独国＞**
・欧州から見た中国出願について　04 巻 1 号
・強力なパテントファミリーの育て方　04 巻 2 号
・出願時の選択に関する留意事項　05 巻 1 号
・世界的な特許への投資をめぐるチャンスとリスク　05 巻 2 号
・ドイツにおける三重の知的財産戦略　06 巻 1 号
・国際市場における知財戦略　06 巻 2 号
・ブランド戦略の意味　07 巻 1 号
・フリーライセンスの利点と欠点　07 巻 2 号
・EU におけるデザインの力　08 巻 1 号
・イノベーションの速さ vs 特許制度の速さ vs 戦略的考慮　08 巻 2 号
・ビッグデータで弁理士の仕事は変わるか？　09 巻 1 号

Thomas Schlief（前ページからの続き）

・急速に変化する産業に対し時代遅れの期間設定か？　09 巻 2 号
・ベンチャー企業：知財による飛躍　10 巻 1 号
・EP 出願の特殊性　11 巻 1 号
・貿易戦争と知的財産　11 巻 2 号
・知財領域において進行中のプロジェクト　12 巻 1 号
・COVID-19 と特許 – 代替的アプローチ　12 巻 2 号
・女性発明家：（緩やかな）増加　13 巻 1 号
・知財ボックスと BEPS（税源浸食・利益移転）　13 巻 2 号
・特許専門家としてのソフトスキル　14 巻 1 号
・知的財産と気候変動抑制技術　14 巻 2 号
・資産投資としての知的財産　15 巻 1 号
・知財の未来を垣間見る：AI ソフトウェアとの連携　15 巻 2 号
・特許業務における持続可能な業務　16 巻 1 号
・模倣品対策におけるドイツ及び欧州税関当局のリスク管理システム　16 巻 2 号
・特許のグレースピリオドの活用：グローバルシステムにおける柔軟性と法的リスクのバランス　17 巻 1 号

Timothy J. Maier　**＜米国＞**

・（共著）この数か月で米国は特許適格性の振り子を明確にプロパテントの方向に振り戻し始めた：Mayo-Alice2 ステップテストにおける 2A ステップの台頭　11 巻 1 号
・（共著）　米国商標の重要性の高まり　11 巻 2 号
・（共著）　　米国特許訴訟に影響を与える最近の判決　12 巻 1 号
・（共著）　　進行中のパンデミックが強調する S-Signatures の重要性　13 巻 1 号
・（共著）　　連邦巡回控訴裁判所 101 条「有効性シチュー」の明確な像　13 巻 2 号
・（共著）　　米国における意匠権侵害　14 巻 1 号
・（共著）　　ロシアの民間航空機を抑圧する欧米の知的財産権利用法　14 巻 2 号

Tobias Paintner　**＜独国＞**

・（共著）ドイツのデジタルヘルスアプリケーションと知財　12 巻 2 号
・（共著）統一特許裁判所の代理人および構成　14 巻 1 号

Tony Yeo　**＜シンガポール＞**

・シンガポールにおける特許付与後の補正　09 巻 2 号

Tracey Harrach **＜米国＞**

・商標を用いたプロダクトデザインの保護範囲の拡張　05 巻 2 号

Trevor Clark **＜米国＞**

・仮出願から PCT へ：より強力な特許保護を得るために　11 巻 1 号

Trevor McDougal **＜米国＞**

・知財制度とイノベーション　09 巻 2 号

Uwe R. Borchert **＜独国＞**

・欧州特許法における最近の立法の取り組み　02 巻 1 号
・欧州特許庁と中国特許庁との密接な連携　03 巻 1 号
・知的財産権保護のためのロードマップ　04 巻 1 号
・特許の出願および維持のための戦略　04 巻 2 号
・経済動向と特許出願：中国を例として　05 巻 1 号
・経済を活性化させる知的財産権　05 巻 2 号
・戦略的特許ポートフォリオの完成に向けて　06 巻 1 号
・実用新案–費用節減・イノベーション保護の代替手段　06 巻 2 号
・特許法体系のバランスにおける先使用権　07 巻 1 号
・特許ライセンスの方針とその他のオプション　07 巻 2 号
・特許権による保護と実用新案権による保護　08 巻 1 号
・新たな欧州の特許制度の影響　08 巻 2 号
・知財とビッグデータ　09 巻 1 号
・イノベーションを促進する知財制度　09 巻 2 号
・特許取得の重要性　10 巻 1 号
・人工知能（AI）が世界と企業の活動を変える　10 巻 2 号
・好ましい特許出願の作成　11 巻 1 号
・貿易と知的財産の関係における国際的基本協定は TRIPS 協定である　11 巻 2 号
・審査プロセスの透明性を高める EUIPO の取組みの一例　12 巻 1 号
・知財業界に深刻な影響を及ぼす COVID19―この状況への対処　12 巻 2 号
・仮想デザインの保護　13 巻 1 号
・統一特許裁判所が再度議論され、まもなく準備作業開始の見込み　14 巻 1 号
・商標における優先権主張の改善に関する提案　14 巻 2 号

Uwe R. Borchert（前ページからの続き）

・2023年6月1日単一効特許と統一特許裁判所開始－必要な検討事項　15巻1号
・産業界のチャンスとしてのAI、欧州の特許出願対象としてのAI　15巻2号
・知的財産（IP）法律事務所の収益性　16巻1号
・EU及びドイツにおける国境措置　16巻2号
・特許ドラフティングにおけるAI　17巻1号

Walter H. Levie Ⅲ　**＜米国＞**

・（共著）米国におけるグリーン・　イノベーション早期審査　16巻1号
・（共著）模倣品に対する米国における商標権行使戦略　16巻2号
・（共著）米国における新たな展開：自明型ダブルパテント　17巻1号

Wolfgang Wittmann　**＜独国＞**

・欧州の税関差押え手続きを通じた知的財産権保有者の権能強化　17巻1号

Xavier Prados　**＜スペイン＞**

・EUにおける新しいデザイン保護法の公布－今後のステップと最も興味深い側面　17巻1号

Yvonne Tang　**＜シンガポール＞**

・シンガポールの経済対策としての知財制度改革　08巻2号
・シンガポールにおけるFinTech発明のための早期審査　10巻2号

イ・ジョンウォン (Jung-Won LEE)　**＜韓国＞**

・新規性喪失の例外規定の適用の根拠となった先行デザインに基づく自由実施抗弁の可否　15巻2号
・損害賠償算定の最近の動向　16巻2号
・ブランド品リフォーム行為の商標権侵害の有無　17巻1号

リッター直子　**＜独国＞**

・欧州特許出願審査過程における審査官への電話インタビュー　14巻1号

粟野　浩　**＜日本＞**

・特許等図面の作成について　17 巻 1 号

安田　和史　**＜日本＞**

・ネット上のフリーミアム型サービスと著作権法上の問題についての一考察　～クラウドコンピューティング技術を背景としたサービスを中心として～　02 巻 1 号

・技術的制限手段回避装置にかかる平成 23 年不正競争防止法改正の影響について　06 巻 2 号

井口雅文　**＜タイ＞**

・東南アジアでの知的財産サービス拠点を目指して　02 巻 1 号

・タイの特許制度の現状と将来　03 巻 1 号

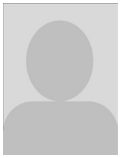
・タイ及びミャンマー近況便り　05 巻 2 号

・ミャンマー（ヤンゴン、ネピドー）知財最新情報　06 巻 2 号

・タイの知財活動状況について　07 巻 1 号

・タイ知的財産局の混乱とタイ経済の実態　07 巻 2 号

・タイ知財制度の近年の改革動向　08 巻 1 号



園田敏雄　**＜日本＞**

・知財を担うある若者に寄せて　10 巻 2 号

奥　啓徳　**＜印国・アセアン＞**

・インドにおける最近の SEP 動向　17 巻 1 号

・無形資産としての知財　15 巻 1 号

・ポストコロナ時代におけるインドの AI 活用政策　15 巻 2 号

横倉　隆　**＜日本＞**

・グローバル企業と知的財産　05 巻 2 号

王　景朝　**＜中国＞**

・知財システムはイノベーションを促進するか？　09巻2号
・体制を改善し、知財保護を強化し続けよう　10巻2号
・香港の新特許制度の紹介　12巻1号

黄　耀霆　**＜台湾＞**

・「明細書の記載不明確」及び「請求項が明細書に支持されていない」案件について　07巻2号
・台湾の特許及び実用新案に関する侵権判断要点の改定重点　08巻2号
・AIが支援する知財業務の未来　09巻1号
・特許の観点から見たオープンイノベーションの留意点　09巻2号
・営業秘密法の一部改正施行後の企業における営業秘密の保護について　10巻2号
・台湾向け出願のクレーム表現において留意すべき事項　11巻1号
・台湾会社の持続的経営及び知的財産管理について　13巻1号
・ビジネス戦略と知財戦略との統合　13巻2号

岡田宏之　**＜日本＞**

・東和なぎさグループへの再編によせて　08巻1号
・日本の特許出願件数について思うこと　08巻2号
・日本における知的紛争処理施策の動き　09巻1号
・知的財産推進計画－今昔－　09巻2号
・「特許の活用」と「特許制度の活用」　10巻1号
・ビジネス優位のための知財活動　10巻2号
・外国出願等の支援制度の活用　11巻1号
・特許制度の貿易への貢献　11巻2号
・日本における「知的財産戦略ビジョン」　12巻1号

加藤　来　**＜日本＞**

・出願審査請求時の留意事項　04巻1号
・拒絶理由の対応の雑感　04巻2号
・「Daub権利エクスチェンジ　オンライン　プラットフォーム」サービスの概要　05巻1号
・発明の単一性の要件・シフト補正の制限の審査基準改定のご紹介　05巻2号
・出願公開前における早期審査の有効活用について　06巻1号
・知的財産戦略のご提案-- 出願手当の勧め　07巻1号
・特許の優先権について-- 後の出願の留意点　07巻2号

郭　放　**＜中国＞**

・特許のオープンは技術の進歩を促進する　07 巻 2 号

・中国における薬品強制実施許諾の現状について―COVID-19 のパンデミックをきっかけに　12 巻 2 号

郭　芳富　**＜台湾＞**

・AI の生成物の特許性及び著作権に関する簡潔な解説　15 巻 2 号

監物崇志　**＜日本＞**

・特許事務は航空管制官だ　17 巻 1 号

吉本成香　**＜日本＞**

・大学における特許戦略と研究の実用化　05 巻 1 号

丘　奇垠　**＜韓国＞**

・AI ソフトウェアを用いたオンラインプラットフォームにおける模倣商品の取り締まり　16 巻 2 号

宮武正明　**＜日本＞**

・グローバル市場における特許戦略–機械要素メーカーを例として–　05 巻 2 号

・イノベーションと創造力　06 巻 1 号

・大学における特許出願とその活用　06 巻 2 号

・研究における新規性調査の重要性　07 巻 1 号

汲　長志　**＜中国＞**

・「特許法」の改訂、革新を激励し、持続可能な発展を促進　13 巻 1 号

許　偉群　**＜中国＞**

- 人工知能の現状と未来を考察する―――特許出願の視点から　09巻1号
- 第4次改正中国専利法-懲罰的損害賠償について　13巻2号
- 第4次中国専利法改正2－懲罰的　賠償の適用要件について　14巻1号
- 中国における AI 生成技術の試練と将来展望：「生成型人工知能サービス管理暫行措置」の解説　15巻2号
- 中国専利法改正と日本企業の特許戦略への影響　17巻1号

金　起文　**＜韓国＞**

- 4次産業発明の成立性の問題　09巻1号
- イノベーションのための知財の活用　09巻2号
- 4次産業と特許権利行使　10巻1号
- 制度と政策と企業活動の決め方　10巻2号
- 費用を考えた複数国への出願方法　11巻1号
- 貿易と知財にかかわる小さい経験　11巻2号
- やはりハーモニー　12巻1号
- 両極化　12巻2号
- 韓国にての SDGs と知財の様々　13巻1号
- 知財と企業と利益　13巻2号
- 分割出願について　14巻1号
- 分割出願について　14巻2号
- 知財価値評価とは　15巻1号
- AI も人間が作るのであろう　15巻2号
- 権利行使する源泉的な方法　16巻2号
- AI 特許に関するいくつかの事項　17巻1号

金　仁漢　**＜韓国＞**

- 特許開放と共生　07巻2号
- 特許と意匠の関係　08巻1号
- 知識財産権創出の支援施策　08巻2号
- モノのインターネット (IoT) の主導権　09巻1号
- 第4次産業革命を迎えて　09巻2号
- 企業の成長に応じた特許出願の意味　10巻1号
- 第4次産業革命による特許庁の役割　10巻2号
- 韓国特許庁における外国出願人の識別　11巻1号
- 貿易摩擦と知的財産権の保護　11巻2号
- 知的財産の創出・活用及び保護　12巻1号
- COIVD-19 による環境の変化　12巻2号

金　仁漢（前ページからの続き）

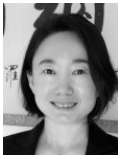
・持続可能な発展のための企業活動　13 巻 1 号
・IP 金融と革新的企業　13 巻 2 号
・融複合技術の出願と審査　14 巻 1 号
・MZ 世代による変化　14 巻 2 号
・企業と特許庁のグローバル化　15 巻 1 号
・AI 関連技術の保護と活用　15 巻 2 号
・環境にやさしい技術の保護と活用　16 巻 1 号
・企業の成長に伴う特許戦略の変化　16 巻 2 号
・韓国における新規性喪失の例外　17 巻 1 号

金　相煥　**＜韓国＞**

・（共著）韓国「不正競争防止及び営業秘密保護に関する法律」改正―データの不正使用行為及び有名人の人的識別標識の無断使用行為を不正競争行為として追加　14 巻 1 号
・（共著）韓国の判例の動向「ゲーム著作物の共同著作権」事件 (大法院 2024・5・9 言渡 2020 ダ 250561 判決)　16 巻 2 号

金　世元　**＜韓国＞**

・韓国での持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号



金　丹　**＜中国＞**

・中日特許審査ハイウェイの紹介　04 巻 2 号
・中国出願補正における新規事項問題のセルフチェック　05 巻 1 号
・期待していいとも、中国職務発明条例　05 巻 2 号
・中国知識産権法院の早わかり　07 巻 1 号
・中国知的財産代理業務用電子商取引　07 巻 2 号
・プロダクト・バイ・プロセス・クレームの取り扱いの日中比較　08 巻 2 号
・中国プログラム関連発明のクレーム作成について　09 巻 2 号

栗原佑介　**＜日本＞**

・地理的表示法制定後の知的財産としての農林水産物の生産品管理―「山梨県産ワイン」を例に―　07 巻 2 号

桑原直哉　**＜日本＞**

・(共著) 日米特許出願構造調査　11巻2号

経　志強　**＜中国＞**

・研究所設立によせて　01巻1号
・中国での「マルチのマルチクレーム」について　02巻1号
・中国特許戦略のための基礎知識　03巻1号
・活気に溢れる中国の知財業界　04巻1号
・中国における実用新案の進歩性判断基準について　04巻2号
・中国特許出願件数の表と裏　05巻1号
・ブラックリストの公表で知的財産権侵害事件は減らせるのか　05巻2号
・中国知財訴訟における損害賠償額の高騰化傾向　06巻2号
・ビジネスと知的財産　07巻1号
・特許の無償開放と研究開発の効率　07巻2号
・特許権と意匠権の補完的役割　08巻1号
・特許法改正が特許実務に与えた影響　08巻2号
・中国の特許分野における BD の活用の現状　09巻1号
・イノベーションを保護するための特許戦略　09巻2号
・特許権取得の意義　10管1号
・貿易摩擦の鍵となる知的財産権摩擦とその解決策　10巻2号
・優先権主張を前提とした第一国出願の作成法　11巻1号
・コロナ危機が知財担保融資を促す起爆剤になるのか　13巻1号

兼坂　昴　**＜米国＞**

・譲渡人禁反言の原則に関する米国最高裁判所判決― Minerva Surgical, Inc. v. Hologic, Inc. (June 29, 2021)　13巻2号

原口欣大　**＜日本＞**

・世界最高の知的財産管理業務を目指して　17巻1号

原田寿政　**＜日本＞**

・イノベーションを支える知財マネジメント組織　09巻2号
・特許権取得の意義は変わったか？　10巻1号

玄　哲松　**＜日本＞**

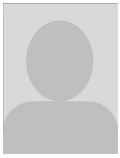
・特許図面に対する一考察　04 巻 2 号

胡　剛　**＜中国＞**

・グリーン・低炭素成長戦略から見た知的財産権　16 巻 1 号

呉　世界　**＜中国＞**

・中国知的財産権司法保護現況　03 巻 1 号



侯　憶萍　**＜台湾＞**

・コロナ禍における台湾特許の強制実施権の実行可能性について　12 巻 2 号

康　一宇　**＜韓国＞**

・2010 韓国知的財産権出願動向と改正方向　02 巻 1 号
・PLT を反映した 2012 年韓国特許法の改正方向　04 巻 1 号
・日韓間の PCT 国際段階成果物を利用した特許審査ハイウェイ　04 巻 2 号
・特許制度と経済発展の相関関係　05 巻 1 号
・グローバル市場における企業の競争優位の獲得に向けての知的財産の貢献法案　05 巻 2 号
・創造経済 (The Creative Economy) と知的財産　06 巻 1 号
・韓国の輸出強小企業の成功 DNA　06 巻 2 号
・ブランドが競争力だ　07 巻 1 号
・シェアすれば金になる　07 巻 2 号
・韓国改正民事訴訟法（法院組織方含む）及び弁理士の紹介　08 巻 1 号
・国家知識財産委員会の議決内容を介して見た韓国の知財戦略　08 巻 2 号
・大法院 2017.1.19 宣告 2013HU37 全員合議体判決の紹介　09 巻 1 号
・オープンイノベーション (Open Innovation) と新薬開発　09 巻 2 号
・技術流出と企業の生存、そして国家の競争力　10 巻 1 号
・韓国における 4 次産業革命と特許　10 巻 2 号
・懲罰的損害賠償等を規定した改正特許法 (2019.7.9 施行) の概要　11 巻 1 号

康　一宇（前ページからの続き）

・韓国特許庁 (特許審判院) の不使用商標取消審判の手続きに関するご案内　11巻2号
・2020年、新たに変わる韓国の知的財産制度の概要　12巻1号
・ポストコロナ時代における知的財産政策の方向　12巻2号
・K-SDGsの目標設定及び進行経過の紹介　13巻1号
・商標ブローカーから商標を保護するための制度の改善の流れ　13巻2号
・非類似商品間の経済的牽連関係の変化　14巻1号
・新産業に対する政府の投資及び法の改正　14巻2号
・メタバース時代を迎えた商標法への仮想商品導入の試み　15巻1号
・商標出願の部分拒絶制度導入の実効性　15巻2号

江原　慶　**＜日本＞**

・模倣と創造性　08巻1号
・雇用動態にみる日本の知財業界動向　08巻2号
・技術貿易動向の国際比較　09巻1号
・内外特許出願動向からみたグローバル・シティとしての東京（上）　09巻2号
・内外特許出願動向からみたグローバル・シティとしての東京（下）　10巻1号
・地代論と知的財産　11巻2号
・「生産条件」という用語の出自　12巻1号
・経済危機と環境危機　12巻2号
・経済成長の謎　13巻1号
・「生産的・単純・賃労働」モデルの限界と知的財産　13巻2号
・機械制大工業という概念について　14巻1号
・『資本論』の中の「産業革命」　14巻2号
・エントロピー増大則の経済学への影響　15巻1号
・フレデリック・ソディの貨幣論　15巻2号
・貨幣論研究の現在　16巻1号
・恐慌論研究の意義　16巻2号
・脱成長資本市場論　17巻1号

佐藤奈苗　**＜日本＞**

・特許事務の役割とやりがい　10巻2号
・知的財産制度の普及啓蒙活動　17巻1号

沙魚川久史　**＜日本＞**

・サービス企業の技術マネジメント～デバイスとの協働による価値拡大に向けて　06巻2号

斎藤歩記　**＜日本＞**

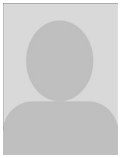
・（共著）AI 創作発明の権利帰属及び発明者の認定に関する考察　09 巻 1 号

榊原良一　**＜日本＞**

・国際知財戦略　05 巻 1 号

朱　芳儀　**＜台湾＞**

・知財管理と企業運営戦略との組み合わせ　14 巻 1 号
・ポストコロナ時代の知財戦略　14 巻 2 号
・台湾の「知的財産案件審理法」改正の概要　15 巻 1 号
・台湾におけるグリーンテクノロジー発明特許の早期審査制度について　16 巻 1 号
・模倣品に対する EC プラットフォームの管理措置：Shopee を事例として　16 巻 2 号
・台湾専利法改正案――デジタル技術による画像デザインを含むように意匠の保護対象を拡大　17 巻 1 号



宗定　勇　**＜日本＞**

・企業知財担当者への道－創刊・懸賞論文掲載号によせて－　01 巻 1 号

春田泰徳　**＜日本＞**

・「企業再生と知的財産」の発刊に寄せて　03 巻 1 号
・知的財産の会計と評価に関する課題　05 巻 1 号
・グローバル市場における知財戦略と課税リスク　05 巻 2 号
・企業のイノベーションと知的財産マネジメント　06 巻 1 号
・知財戦略としての海外 M&A　06 巻 2 号

小田光春　**＜日本＞**

・特許関連書類の作成にあたって　05 巻 1 号

小椋正幸　**＜日本＞**

・我が国における知財訴訟事件の現況から　14巻2号

水茎　弥　**＜日本＞**

・我が国における商標を取り巻く状況について　15巻2号

星　陸　**＜日本＞**

・特許実務における連携の重要性　06巻1号
・特定の言語に依存した表現の回避　07巻1号
・特許翻訳における翻訳ソフトの利用可能性　08巻1号
・特許明細書における「冗長性」の是非　08巻2号

清水利明　**＜日本＞**

・商標法4条1項11号に係る商標の類否判断における取引実情の考慮　07巻1号

石原　直　**＜日本＞**

・イノベーションにおける特許の活用例　06巻1号

千　成鎮　**＜韓国＞**

・韓国における AI 関連 IP の動向　15巻2号
・韓国の気候変動対応のための努力及び知的財産権制度　16巻1号
・2024年韓国知的財産権の統計　17巻1号

孫　紅暁　**＜中国＞**

・中国「新商標法」における悪意登録商標対応　08巻2号
・中国における商標登録利便化改革の促進　10巻1号

大井円香　**＜日本＞**

・高まる知財活動のコーディネーターとして　16 巻 1 号
・2023 年度アジア弁理士協会（APAA）シンガポール総会　16 巻 1 号
・中国における商標不使用取消への対応　16 巻 2 号
・2024 年度アジア弁理士協会（APAA）マニラ　17 巻 1 号
・日本における外国出願助成金制度の現状と課題　17 巻 1 号

池谷光司　**＜日本＞**

・グループ知財戦略と組織デザイン　01 巻 1 号
・日立のグループ知財戦略　03 巻 1 号
・日本における中小企業の知財政策に関する一考察　05 巻 2 号
・技術流出と倫理的課題　07 巻 1 号

竹永光太郎　**＜日本＞**

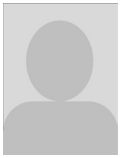
・プラダを着た悪魔のように最後まで諦めない知的財産戦略を　15 巻 1 号
・AI 堕ち　15 巻 2 号
・漫画家の持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号
・もっともプリミティブなやり方で　16 巻 2 号
・様々な二次創作ガイドラインから 見えてくる「常識の範囲」　17 巻 1 号

中山秀明　**＜日本＞**

・プロダクト・バイ・プロセス・クレーム審査の今後　09 巻 1 号

中村光一郎　**＜米国＞**

・USPTO が特許失効防止のための　手数料引き上げを提案　16 巻 1 号
・USPTO によるターミナルディスクレーマ実務の規則変更提案　16 巻 2 号



仲家真由美　**＜日本＞**

・これからの知的財産マネジメント-知財/知財権ミックス戦略を踏まえて-
05 巻 1 号

張　維文　**＜台湾＞**

・特許権侵害事件における民事保全の手続　08 巻 1 号

張　夢瑄　**＜中国＞**

・(共著) 中国の新品種保護制度と最近の動向　17巻1号

長坂剛人　**＜日本＞**

・知的財産に関する水際取締りの現状　10巻2号

坪井健児　**＜日本＞**

・中間処理の際に思うこと（その1）　08巻1号
・中間処理の際に思うこと（その2）　08巻2号
・中間処理の際に思うこと（その3）　09巻1号
・中間処理の際に思うこと（その4）　09巻2号
・中間処理の際に思うこと（その5）　10巻1号
・中間処理の際に思うこと（その6）　10巻2号
・中間処理の際に思うこと（その7）　11巻1号
・中間処理の際に思うこと（その8）　11巻2号
・中間処理の際に思うこと（その9）　12巻1号

鄭　永宰　**＜韓国＞**

・韓国著作権法 TMD 免責導入議論とその意義　15巻2号

鄭　源英　**＜韓国＞**

・(共著) 韓国「不正競争防止及び営業秘密保護に関する法律」改正―データの不正使用行為及び有名人の人的識別標識の無断使用行為を不正競争行為として追加　14巻1号
・(共著) 韓国の判例の動向「ゲーム著作物の共同著作権」事件 (大法院 2024・5・9 言渡 2020 ダ 250561 判決)　16巻2号

田中義敏　**＜日本＞**

・先行技術調査を海外から直接受注してサーチ結果を世界に発信　10巻2号
・消費者ニーズポートフォリオと特許ポートフォリオのマッチング　11巻1号
・ハイテク産業分野に特化した技術貿易収支への挑戦が必要　11巻2号

渡辺弘明　**＜日本＞**

・理念とデザイン　10 巻 2 号

島田敏史　**＜日本＞**

・なぜ、あなたの模倣品対策は効果を実感できないのか。模倣品対策の 3 つのポイント　09 巻 2 号
・中国の知財動向に合わせて取るべき対応　10 巻 2 号
・特許のクレームは国ごとに変える必要がある　11 巻 1 号
・貿易時の知財評価と税務リスク　11 巻 2 号
・知財の意義を再考するよい機会に　12 巻 2 号
・「模倣品対策」で SDGs を実現　13 巻 1 号
・ビジネスに貢献する特許が必要　13 巻 2 号
・「知的財産」と「知的財産権」　14 巻 1 号
・VUCA ワールドにおける知的財産　14 巻 2 号
・知的財産権と金融・経済　15 巻 1 号
・生成系 AI に係る著作権問題　15 巻 2 号
・持続可能な経済活動と知的財産　16 巻 1 号

湯　春龍　**＜中国＞**

・中国の特許無効審判における優先権について　10 巻 1 号

藤田達郎　**＜日本＞**

・警告書を送付する際の注意点　09 巻 2 号

徳岡　滋　**＜日本＞**

・実務的立場からのクレーム翻訳に関する一考察　03 巻 1 号

馬　歩天　**＜中国＞**

・中国人工知能特許の現状と将来　15巻2号

服部　謙太朗　**＜日本＞**

・輸入差止申立手続きと図形商標　16巻2号

平塚三好　**＜日本＞**

・(共著) AI創作発明の権利帰属及び発明者の認定に関する考察　09巻1号

平野　智　**＜日本＞**

・オープンイノベーションにおける知的財産の活用　07巻2号
・大学における技術移転の好ましいストーリー　08巻2号
・東和なぎさ経営戦略研究所発足にあたって　09巻1号
・イノベーションと知財活用　09巻2号
・情報材の国境　12巻1号
・AI、データに係る知財について　13巻2号
・知財におけるマルチディシプリナリーアプローチについて　14巻1号
・新たな価値環境における知財　14巻2号

平林岳治　**＜日本＞**

・特許審査ハイウェイ (PPH) の実効性を求めて　05巻2号
・新興アジア諸国における知財の新たな潮流　06巻1号
・営業秘密の側面から見た知的財産の保護　07巻1号
・日本におけるプロダクト・バイ・プロセス・クレームの取扱い　07巻2号
・日本におけるプロダクト・バイ・プロセス・クレームの取扱い（再掲載）　09巻1号
・IoT関連技術に対する日本国特許庁の判断基準について　09巻2号
・中小企業における知的財産権の役割　12巻1号
・不使用取消審判における使用の立証について　12巻2号
・中小企業における知的財産権の役割（再掲載）　13巻1号
・商標実務と他法域との関わりについて　14巻1号

平林岳治（前ページからの続き）

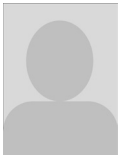
・商標出願に伴う社会的リスクについて　14 巻 2 号
・コンセント制度の導入について　15 巻 1 号

米山　毅　**＜日本＞**

・コロナ禍における知財を通じた支援策について　12 巻 2 号
・AI 関連技術の知的財産の側面からみた状況について　14 巻 2 号
・ベンチャー企業における知財戦略　12 巻 1 号
・DX の推進と AI 特許について　13 巻 2 号
・スタートアップの知的財産取得に係るインターディシプリナリーな支援　14 巻 1 号
・ベンチャー企業における知財戦略　13 巻 1 号

木全　賢　**＜日本＞**

・なぜアップルは非効率なアルミ切削加工にこだわるのか　10 巻 1 号



野間小百合　**＜日本＞**

・国境を越えた発明の法的保護-知財戦略の観点から-　06 巻 1 号

李　栄欣　**＜中国＞**

・コロナ禍における中国裁判所の知的財産権紛争事件対応の実務の変化　14 巻 2 号

李　慧恵　**＜中国＞**

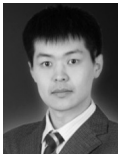
・中国特許の新制度についての展望――四回目の特許法改正について　08 巻 2 号

李　承龍　**＜韓国＞**

・アプリケーションに対する商標権の権利範囲―韓国特許裁判所 2023HEO12862 判決に関して　16巻2号

李　相赫　**＜韓国＞**

・韓国におけるマルチマルチクレームの一考察　08巻2号



李　梟　**＜中国＞**

・中国の重点発展産業の計画とマッチング特許政策の調整　13巻2号

劉　松　**＜中国＞**

・日中知的財産情報交流の架け橋へ　02巻1号
・中国の産学連携モデルの紹介　03巻1号
・統計数字からみる中国知財訴訟の現状　04巻1号

劉　麗梅　**＜中国＞**

・中国「商標代理監督管理規定」の解読　15巻1号

梁　成旭　**＜韓国＞**

・韓国のグリーンニューディール　13巻1号
・請求範囲の解釈に関する判例の紹介―大法院 2021 ダ 217011 (侵害訴訟) 判決　13巻2号
・韓国における均等侵害　15巻1号
・AI 発明に対する審査基準の紹介　15巻2号
・韓国の分離出願制度　16巻1号
・懲罰的損害賠償　17巻1号

林　靖蓉　**＜台湾＞**
・経営資源としての特許マネジメント　10 巻 1 号

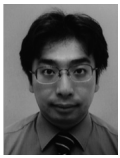
鈴木香織　**＜日本＞**
・電子出版に関する法整備の現状と電子書籍市場のこれから　06 巻 2 号

鈴木信也　**＜日本＞**
・多面的な地域ブランドの保護と地域復興政策の提案　04 巻 1 号
・ロースクール留学記　06 巻 2 号

姜　錫勳　**＜韓国＞**
・懲罰的損害賠償責任を認めた判決に関して　17 巻 1 号

姜　明才　**＜中国＞**
・中米貿易戦争における知的財産問題について　11 巻 2 号
・中米の第一段階協定の達成に関する解読　12 巻 1 号
・デジタル経済発展における知的財産権保護と独占禁止のバランス関係　13 巻 1 号
・中国の急速な経済成長及び環境課題への取り組み　16 巻 1 号
・標準必須特許（SEP）の国際動向と米中対立　16 巻 2 号

尹　龍植　**＜中国＞**
・中国商標審査審理ガイドラインの施行とその変化　14 巻 1 号



杣谷　啓　**＜日本＞**
・プロペラ軸に使用される密封装置の出願動向　08 巻 2 号
・特許図面について（その 1）　09 巻 1 号
・特許図面について（その 2）　09 巻 2 号
・特許図面について（その 3）　10 巻 1 号
・特許図面について（その 4）　10 巻 2 号

杣谷　啓（前ページからの続き）

・特許図面について（その5）　11巻1号
・資料として読みづらい特許文献　11巻2号
・プロペラ軸に使用される密封装置の出願動向（2）　12巻1号
・今年の日本におけるフォイル軸受に関する出願動向　12巻2号
・国立大学の特許出願（交付金配分上位大学について）　13巻2号

柯　珂　**＜中国＞**

・中国は最高裁知財法廷を設立した　11巻1号
・中国のCOVID-19に対応する知的財産権の行政及び司法措置　12巻2号
・（共著）中国の新品種保護制度と最近の動向　17巻1号

歐　姿漣　**＜台湾＞**

・台湾におけるパテントリンケージ制度の概要　13巻1号
・COVID-19の感染拡大に対応する台湾特許庁の措置　13巻2号
・特許技術者の育成を目的とした新人研修制度　14巻1号
・台湾パテントリンケージ制度の最新動向　14巻2号
・台湾における無形資産評価の能力検定制度　15巻1号
・AI技術関連の特許出願及び判決例　15巻2号
・クリーン・テクノロジーに関する台湾特許庁の施策　16巻1号
・SEP（標準必須特許）に関する台湾の法令及び運用　16巻2号
・台湾における再審査加速制度　17巻1号

呉　采軒　**＜台湾＞**

・オンライン取引及び商標、著作権に対する証拠調査　11巻2号
・台湾特許における民事、行政二元制での裁判に矛盾が生じる可能性　12巻1号

逯　長明　**＜中国＞**

・中国におけるビジネスモデル特許のドアは本当に開けたのか？　09巻2号
・ソフトウェア類の出願の技術属性に関する簡単な分析　10巻2号
・コンピュータープログラム技術方案についての処理基礎―属性の復位及び還元に関する簡単な分析　11巻1号
・企業利益を保護する有効な知的財産権モデル―技術の先使用権について　14巻2号
・中国における情報資源に関する知的財産権制度の現状及び展望　15巻1号

黃　宇澤　　**＜韓国＞**

・化合物の結晶型発明に対する進歩性判断方向の変化　　16 巻 1 号